

解答プリント「中学社会・歴史的分野」

■補充プリント

8 幕府政治の動きと近代欧米諸国

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊦：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>1 ㊦ ① 享保<small>きやうほう</small></p> <p>㊦ ② 公事方御定書<small>くじかたおさだめがき</small></p> <p>㊦ ③ 寛政の改革<small>かんせい</small></p> <p>㊦ ④ ラクスマン</p> <p>㊦ ⑤ 化政<small>かせい</small></p> <p>㊦ ⑥ 大塩平八郎<small>おおしおへいはちろう</small></p> <p>㊦ ⑦ 天保<small>てんぽう</small></p>	<p>1 ① Aの徳川吉宗は御三家<small>ごさんけ</small>の1つである紀伊藩の藩主から8代将軍となった。</p> <p>② 公事方御定書は、公平な裁判を行うため定められたもので、それまでの判例を中心にまとめたものである。</p> <p>③ Bの松平定信<small>まつだいらさだのぶ</small>は、白河藩主<small>しらかわはんしゆ</small>として天明のききんのときに、藩内から一人も餓死者を出さなかったことが認められ、老中に取りたてられた。</p> <p>④ Dは根室<small>ねむろ</small>である。ラクスマンは、日本人漂流民<small>ひやうりゅうみん</small>の送還<small>そう</small>と、ロシア帝国の女帝エカチェリーナ2世が日本に対して通商を求めた国書をもって来日した。</p> <p>⑤ 化政文化は18世紀末から19世紀初めにかけて江戸を中心にさかえた。</p> <p>⑥ 大塩平八郎は元大阪町奉行所<small>まちぶぎやうしよ</small>の役人であった。</p> <p>⑦ Cの水野忠邦による天保の改革は2年余りで失敗した。</p>
<p>2 ㊦ (1) 工場制手工業 〔マニュファクチュア〕</p> <p>㊦ (2) 解体新書<small>かいたいしんしよ</small></p> <p>㊦ (3) 伊能忠敬<small>いのうただたか</small></p> <p>㊦ (4) フランス革命</p>	<p>2 (1) 工場制手工業は、酒・しょう油などの醸造業<small>じやうざう</small>、織物業などで発達した。</p> <p>(2) ドイツの医学書をオランダ語で記した『ターヘル・アナトミア』を翻訳したものである。杉田玄白・前野良沢<small>すぎたげんぱく まへのりょうたく</small>らが翻訳し、1744年に刊行された。</p> <p>(3) 資料は『大日本沿海輿地全図』の一部である。近年、蝦夷地<small>えぞち</small>（北海道）の地図の大部分は間宮林蔵<small>まみやりんぞう</small>が測量したとの説が有力となっている。</p> <p>(4) バスチーユ牢獄<small>ろうごく</small>が襲撃<small>しゅうげき</small>された年、国民議会は自由・平等・国民主権をかかげた人権宣言を発表している。</p>
<p>3 ㊦ (1) 目安箱</p> <p>㊦ (2) 株仲間</p> <p>㊦ (3) 朱子学<small>しゆしがく</small></p> <p>㊦ (4) 寺子屋</p> <p>㊦ (5) 異国船〔外国船〕打払令<small>いこくせん うちはらいれい</small></p>	<p>3 (1) 目安箱に入れられた意見により、小石川療養所などがつくられた。</p> <p>(2) 株仲間は、商業を統制する目的で徳川吉宗も公認している。</p> <p>(3) 朱子学は儒学<small>じゆがく</small>の一派で、身分秩序<small>ちつじよ</small>の維持を重視したため、幕府にとって都合のよい学問であった。</p> <p>(4) 寺子屋では、浪人<small>ろうにん</small>・神官<small>しんくわん</small>・僧侶<small>そうりよ</small>などが教師として子どもたちに教育を行った。</p> <p>(5) 18世紀終わりから、日本の各地にロシア・イギリスなどの艦船<small>かんせん</small>が近づくようになっていた。</p>